

I 計画の改定にあたって

序章 緑の基本計画の役割・位置づけ

1 緑の基本計画とは

「緑の基本計画」とは、都市緑地法第4条に基づき、市町村がその区域内における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する取組を総合的かつ計画的に実施するために定めるものであり、その目標と実現のための施策等を内容とする緑とオープンスペースの総合的な計画です。

本市では、平成12(2000)年に第1次となる「宇都宮市緑の基本計画」(以下、第1次計画)を策定し、本計画に基づき、緑地の保全や公園整備、市街地緑化等、様々な施策を展開してきました。

しかし、計画策定から10年が経過し、環境問題に対する社会要請や市民意識の高まり、また市町合併による行政区域の拡大や一体的なまちづくりの必要性など、市内の緑を取り巻く状況が変化しています。

これらの変化に的確に対応するとともに、新たな緑のまちづくりに向けた考え方や取組の基本的な方向を明らかにするため、「(仮称)第2次宇都宮市緑の基本計画」として改定を行いました。

2 対象とする「緑」

本計画における「緑」とは、樹林地や街路樹、農地、草花、芝生、水面など全ての緑を対象とします。したがって、公園や道路など、公共施設における緑のほか、民有地の庭や花壇等の緑も含んでいます。



3 緑のもつ様々な機能

緑は、多様な機能を有しており、快適で安全な住環境の創出や、魅力あふれる都市づくりに貢献し、市民の暮らしを支えています。代表的な機能としては以下のようなものがあります。

【環境保全機能】

- ・ 緑は、様々な生物の生育・生息場所となり、生物多様性の宝庫となっています。
- ・ 緑は、光合成によって空気中の二酸化炭素を吸収するため、地球温暖化を抑制する役割を果たします。
- ・ 緑は、コンクリートやアスファルトなどの人工物と比較し、日中温まりにくく、夜間冷えやすい性質を持ちます。また、蒸散作用による気温低減効果もあるため、ヒートアイランド現象の緩和等、良好な都市環境の維持に貢献しています。



【レクリエーション機能】

- ・ 緑は、公園やスポーツ施設、散策路のように、市民の身近な憩いの場や健康の維持・増進の場となり、様々なレクリエーションの機会を提供しています。
- ・ 緑は、人々に心の安らぎや充足感を与え、日々の暮らしを豊かにしてくれます。



【防災機能】

- ・ 緑は、都市公園や緑地のように、地震災害等において延焼防止空間や避難場所となり、防災面で役立っています。
- ・ 緑は、山地の樹木のように、根を地表面に張り巡らせることによって豪雨時にも土砂の崩壊を防ぎます。また、森林や農地は降水を貯留することによって河川に流出する水量を抑止するなど、災害防止、環境の調節に優れた効果を発揮し、私たちの生活の安全・安心を支えています。



【景観形成機能】

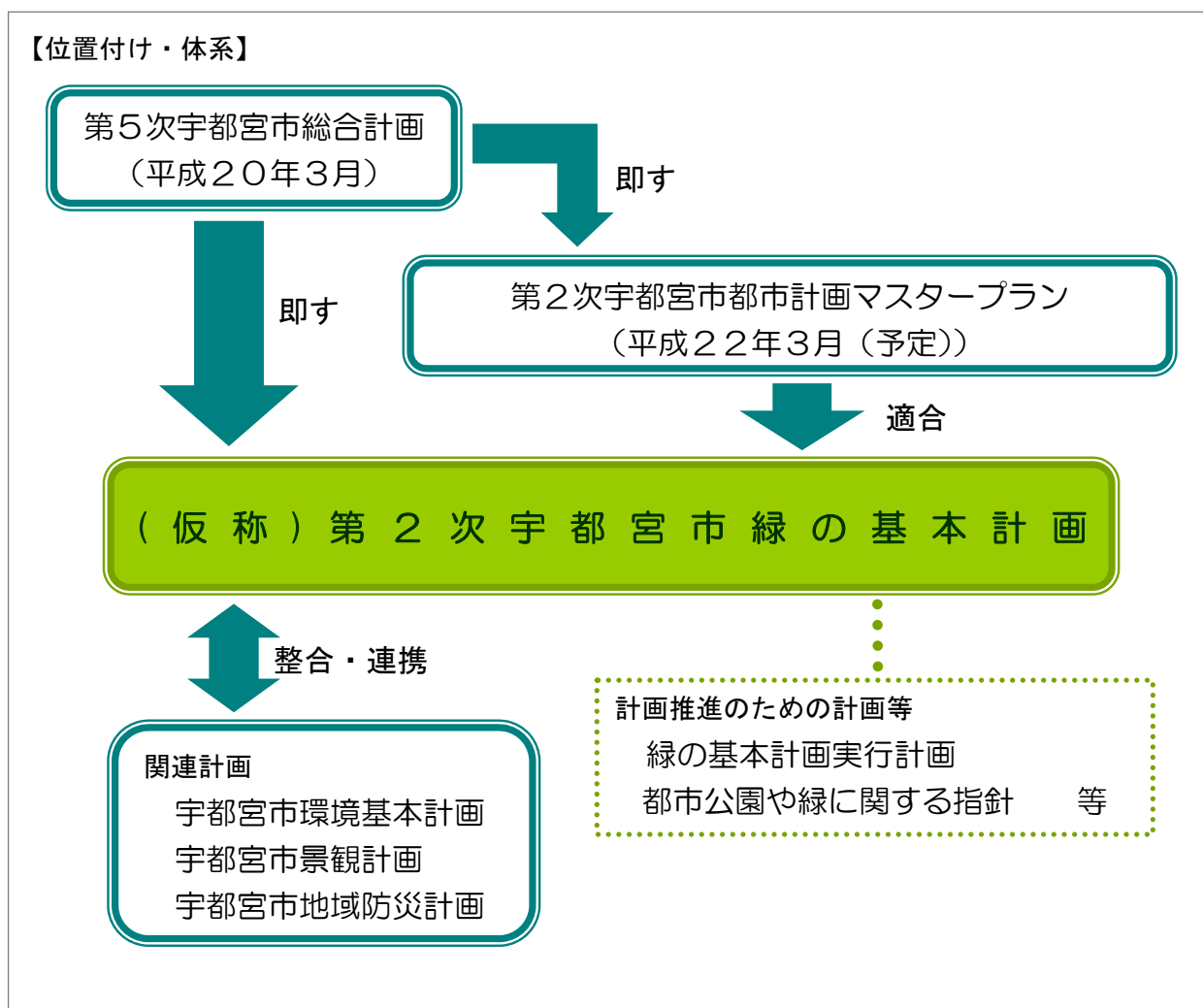
- ・ 緑は、里山や農地などのように、地域で引き継がれて、人々に懐かしさや安らぎを感じさせるなどふるさとの原風景として愛されています。
- ・ 緑は、街路樹等や建物周辺の樹木など、都市の景観にうるおいを与えてくれます。
- ・ 緑は、まちの個性や風格を形成し、人々の地域への愛着心の向上にも貢献しています。



4 計画の位置付けと目標年次

本計画は、「第5次宇都宮市総合計画」（平成20（2008）年）や「第2次宇都宮市都市計画マスタープラン」（平成22（2010）年策定予定）を上位計画とするとともに、「宇都宮市環境基本計画」（平成20（2008）年改訂）や「宇都宮市景観計画」（平成20（2008）年改訂）など、関連計画との十分な整合を図り、策定しました。

計画の目標年次は第5次宇都宮市総合計画基本構想との整合を図り、平成34（2022）年とします。



第1章 緑を取り巻く環境の変化

1 今、緑に求められていること

近年、地球温暖化の進行や生物多様性の損失など、緑に関連の深い問題がさらに深刻化しています。これらは、市民の暮らしにも身近な問題であることから、様々な視点での対策が求められています。

このため、計画改定にあたっては、これらの緑の持つ様々な機能を効果的に発揮することにより、諸問題への対応を図ることを目指します。

【低炭素都市づくりに向けた視点】

地球温暖化問題の改善やヒートアイランド現象の緩和にもつながる「低炭素都市づくり」への対応が求められています。

- ・温暖化問題の解決に向けて、日本は平成 9 (1997) 年の京都議定書において、二酸化炭素などの「温室効果ガス」排出量について、平成 21 (2008) 年から平成 24 (2012) 年の間に平成 2 (1990) 年比で 6 % の削減目標を掲げています。
- ・人工排熱及び地表面人工化などが原因といわれるヒートアイランド現象も顕在化しており、仙台市や東京など、平均気温がこの 100 年間で 2 ~ 3℃ 上昇した都市もあります。本市でも本現象の特徴である真夏日や熱帯夜が増加傾向にあります。
- ・これらの諸問題の解決に向け、二酸化炭素の排出が少ない、持続可能な都市づくりを進めるために、天然資源の地域内循環を進めるなどの「低炭素都市づくり」という考え方が重視されてきています。
- ・本計画においても、低炭素型社会に向けた緑の効果の発揮を目指します。



都市の緑による低炭素化のイメージ
図内、オレンジ枠内が、
ガイドラインで整理されている
「都市のみどりによる低炭素効果」

(出典：省 CO₂ 型都市・地域構造形成
に資する緑に係る施策の検討調査
国土交通省)

【生物多様性の保全に向けた視点】

**生物多様性の保全に向け、
地域における計画づくりや取組の推進が求められています。**

- ・国連が実施した調査によると、人類は、自然に起きる絶滅と比べて100～1,000倍もの速度で種を絶滅させてきたと報告されています。
- ・生物多様性の保全に向け、平成20（2008）年に制定された「生物多様性基本法」では「地方公共団体の責務や、地域レベルでの生物多様性の保全・持続可能な利用に関する基本的な計画の策定の必要性」が規定されています。本法律に基づき、栃木県では「生物多様性とちぎ戦略（仮称）」を平成23年に策定することが予定されています。
- ・このように、地域レベルにおいても、今後、生物多様性の保全に向けた各種の取組の進展が予想されることから、本計画においても、生物多様性に貢献を資する緑地の保全・緑化等を目指します。

【都市防災に向けた視点】

**市民が日々安全・安心に暮らすことのできる
災害等に強いまちづくりが求められています。**

- ・災害による被害は、長期的に見ると減少傾向にあるものの、阪神・淡路大震災（平成7（1995）年）、新潟県中越地震（平成16（2004）年）など、各地に大規模地震による甚大な被害がもたらされており、自然災害は、市民の安全・安心に係わる大きな脅威となっています。
- ・平成16（2004）年には観測史上最多の台風上陸が観測されたほか、短時間の局地的な大雨が増加傾向にあるなど、新たな災害リスクへの対応が必要となっています。
- ・本計画においても、緑の保全・創出等の観点から安全・安心なまちづくりにつなげていくことを目指します。

【緑の多様な機能の発揮に向けた視点】

**緑のもつ多様な機能のさらなる発揮に向けた
「緑のネットワーク形成」が重視されてきています。**

- ・限られた緑地や緑化可能なスペースにおいて、緑のもつ様々な機能を効果的に発揮させていくために、生物の生息地である緑をつなぎ、生物の移動経路や新たな生息地の提供を図る「生態系ネットワーク」の形成が重視されています。
- ・このことは、第三次生物多様性国家戦略（平成19（2007）年、環境省）に示されているほか、「社会資本整備重点計画」（平成21（2009）年、国土交通省）においても、「水と緑のネットワークの形成」が施策の一つに位置づけられています。
- ・本計画においても、緑の保全や創出を通して緑のネットワーク形成を目指します。

【市民主体のまちづくりに向けた視点】

今後の緑のまちづくりにおいて、行政だけにとどまらず
市民や団体、企業などの主体的な取組が必要となっています。

- ・多くの人々の努力によって保全・創出されてきた緑を、健全な状態で将来に引き継いでいけるよう、都市公園や街路樹の適切な維持管理による質の維持・向上を図ることが重視されてきています。
- ・よりよい維持管理を進めるためには、行政による取組だけでなく市民や事業者などの参加・協力が必要です。このことから、子どもの頃から緑の大切さについて学び、愛着心を醸成することや、市民によって主体的な取組が進められるような機運の向上を図ることが必要です。

2 緑に関連する法律等の変化

都市緑地法の改正等、法体系が変化しており、
新たな枠組・制度への対応と取組の推進が求められています。

【景観緑三法の施行（都市緑地法の改正）】

- ・景観緑三法とは、「景観法」「景観法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」「都市緑地保全法等の一部を改正する法律」を併せて称したもので、平成 17（2005）年に全面施行されました。
- ・「都市緑地保全法等の一部を改正する法律」は、都市緑地法と都市公園法等の改正に関する法律で、緑の基本計画の計画事項に都市公園の整備に関する事項が追加されました。また、より効果的・効率的な緑の保全や創出を目指し、緑化地域制度、立体都市公園制度、借地公園整備の促進などの制度も充実しました。
- ・「景観法」の施行を受け、各地域における景観計画策定等を通じた景観づくりへの意識も高まっています。

【社会資本整備重点計画の策定】

- ・社会資本整備重点計画（国土交通省）は、社会資本整備重点計画法（平成 15（2003）年制定）に基づき、国民生活・産業活動の基盤を形成する社会資本について整備の方向性や取組等を明らかにするものであり、第 2 次の計画（計画期間：平成 20（2008）年度～24（2012）年度）が平成 21（2009）年 3 月に閣議決定されています。
- ・この計画においては、緑の機能や効果の発揮に向けた事業展開方針が提示されており、第 2 次計画においては、社会資本整備の各分野にわたる横断的な観点として、「ストック型社会への対応」などが示されるとともに、効率的な社会資本整備の推進を図るための方策として、「多様な主体の参画」などが新たに追加されています。

【用語解説】

「ストック型社会」とは、日本では戦後の高度経済成長とともに整備されてきた資本や資源を、世代を超えて長持ちさせて使っていくという考え方です。

3 本市の今後のまちづくりのあり方

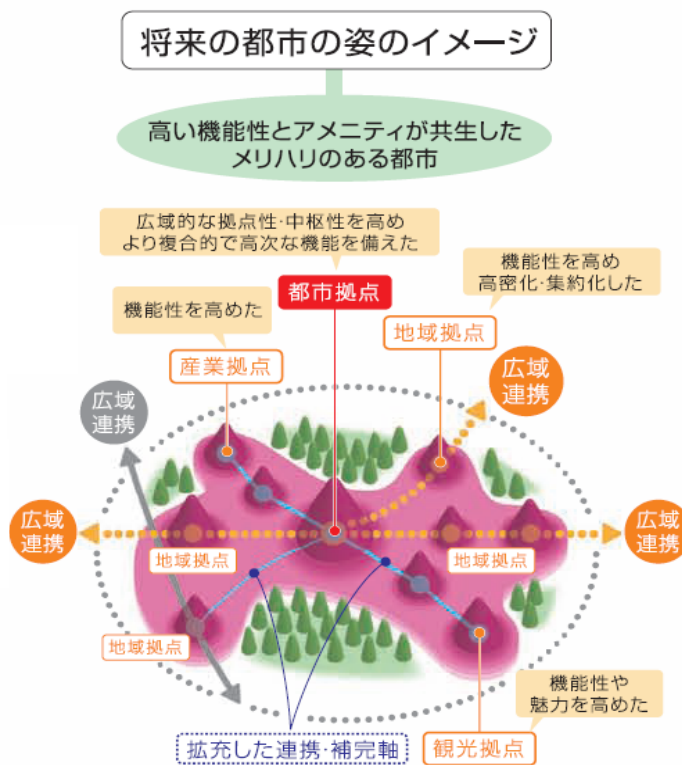
本市の目指す都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現につながる、緑の保全・創出が求められています。

第5次宇都宮市総合計画では、本市の将来の都市の姿として「ネットワーク型コンパクトシティ」を掲げています。

これは、土地利用の適正化と拠点化の促進により、都市の「コンパクト化（集約化）」を図るとともに、拠点間における機能連携・補完、他圏域との広域的連携のための軸を形成・強化するなど、「ネットワーク化（連携）」を促進し、本市の都市の成り立ちを踏まえ、これからの人口規模・構造や都市活動に見合った都市空間の形成を目指すものです。

ネットワーク型コンパクトシティの形成に当たっては、鬼怒川などの清流や北部丘陵から市街地に楔状に展開する緑（「水と緑の環境帯（エコベルト）」）の適切な保全や各種都市機能や軸との調和が求められます。また、各拠点の機能性の向上に当たっては、環境にも配慮した潤いある空間を形成するため、緑のまちづくりによる都市アメニティの向上が求められます。

このような、目指す都市の姿を実現するため、本計画においても、ネットワーク型コンパクトシティの理念を踏まえ、緑のまちづくりに関する目標の設定や必要な取組の位置づけを行います。



ネットワーク型コンパクトシティイメージ
出典：第5次宇都宮市総合計画

第2章 緑の現況と課題

1 宇都宮市の現況と課題

(1) 都市の概況

本市は東京から北へ約 100km, 広大で肥沃な関東平野のほぼ北端に位置しており, 県の中央部において面積 41,684ha, 県土の約 6.5%を占めています。

広大で肥沃な関東平野のほぼ北端に位置し, 高台からは南に関東平野の地平線, 晴れた日には富士山の雄姿を, また, 北西には日光連山を望むことができます。

南北には東北新幹線, 東北自動車道が, 東西には北関東自動車道などが市内を貫いており, 主要な交通が交差する要衝にあります。また, 50 万都市としての機能が集積しており, 北関東の中核都市として発展し続けています。



広域位置図

(2) 自然的条件

① 気象

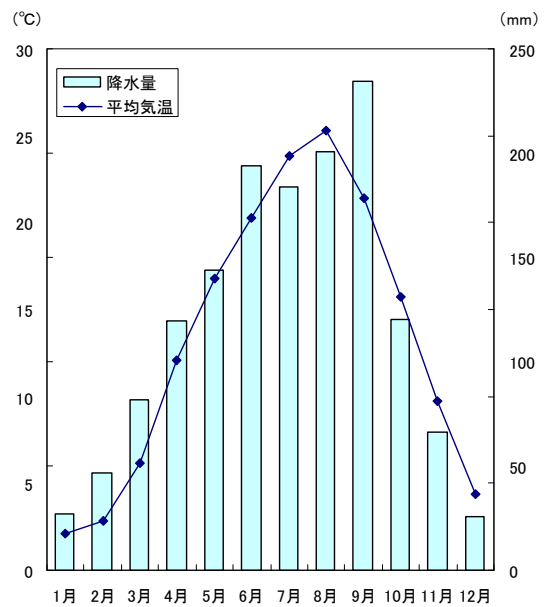
太平洋岸から約 70km, 日本海岸から約 150km の日本列島の内陸部にあたり, 年間の平均気温は 13~14℃であり, 夏は 35℃を超え, 冬は -5℃以下になる日もあるなど, 一年を通じた寒暖差と, 昼夜の気温差が大きい典型的な内陸性の気候となっています。平均気温の長期的変化傾向は緩やかな上昇を示しています。

降水量は年間 1,300~1,700mm で全国と比較すると少なくなっています。また, 地域特性として, 夏季の厳しい雷雨, 冬季の日照時間の長さが挙げられます。

風向きは, 北北東が最も多く, 次いで北, 北東となっています。

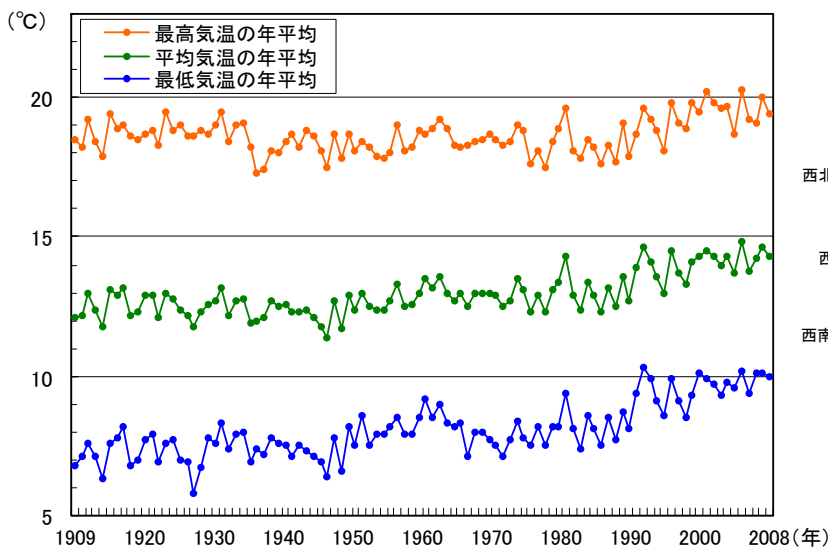
近年の気象状況

西暦 (年)	気温(℃)			降水量 (mm)	風速 (m/s)	最多 風向き
	年平均	最高値	最低値			
1999	14.5	36.6	-7.5	1,417.5	3.0	北北東
2000	14.3	36.5	-6.3	1,633.5	2.9	北北東
2001	14	38.2	-7.4	1,525	3.0	北北東
2002	14.3	36.9	-6.3	1,571.5	3.0	北北東
2003	13.7	34.9	-6.3	1,469	2.8	北北東
2004	14.8	37.1	-5.3	1,658.5	3.0	北北東
2005	13.8	36	-5.9	1,333	2.9	北北東
2006	14.2	35.5	-7.5	1,695.5	2.9	北北東
2007	14.6	37	-4.1	1,320.5	2.9	北北東
2008	14.3	35.2	-5.9	1,596.5	2.9	北北東

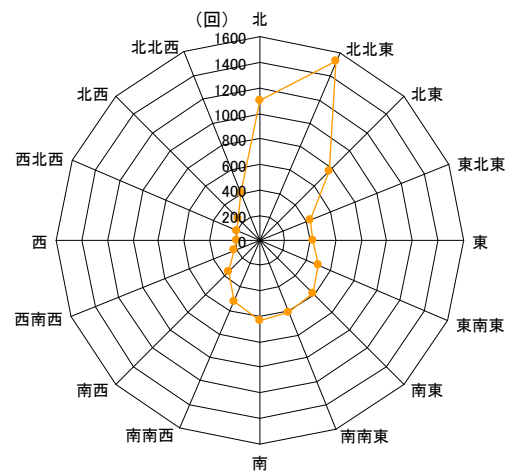


気温と降水量の年間別変化

※1971~2000年の平均値による。



気温の長期的変化



年間風向き別観測回数

※1990~2008年の平均値による。

出典：宇都宮地方気象台

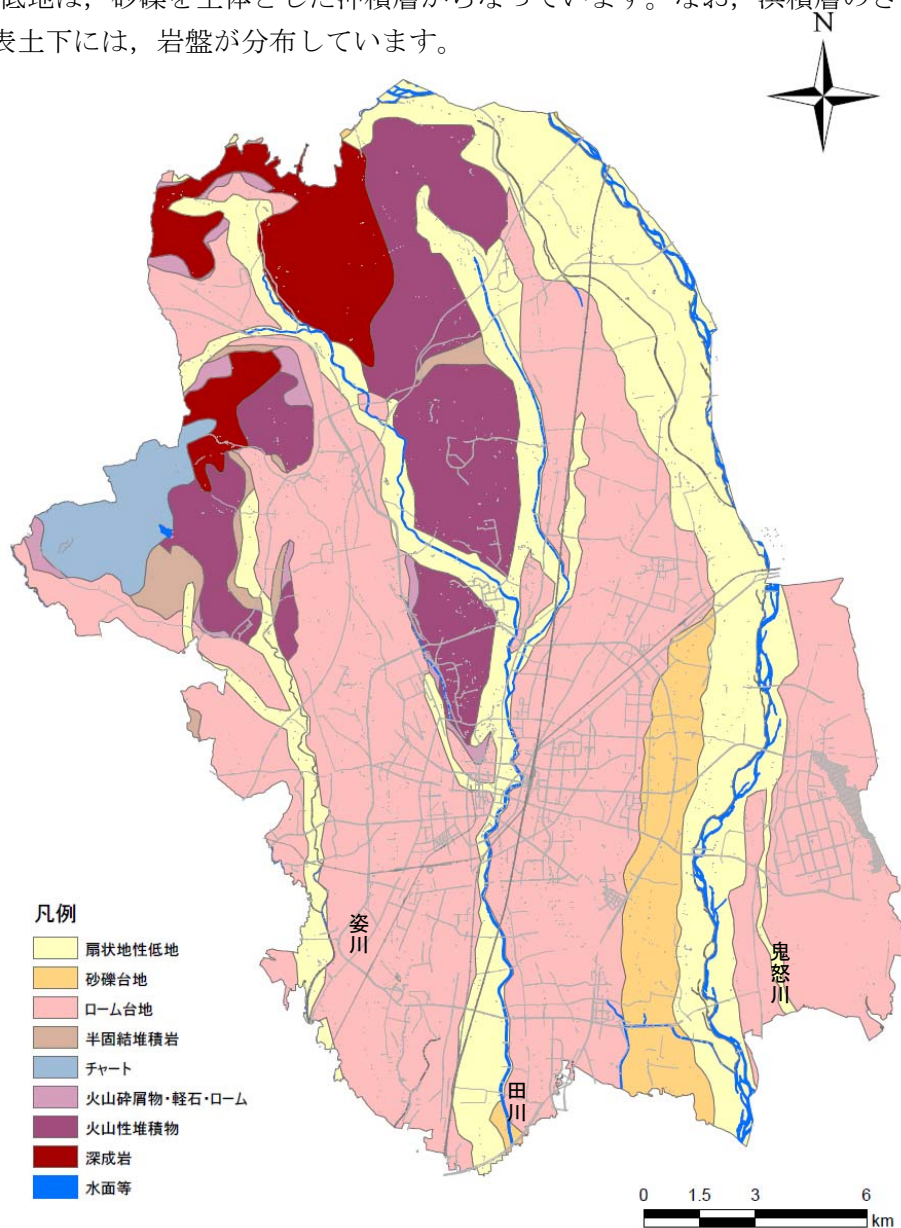
②地形・地質

本市域の北部と北西部には、標高 300～600m級の山々が連なる山地があり、そこから中央北部にかけては楔状に丘陵地が入り込んでいます。土地の形状及び形成過程や地質等により分類すると、平地は主に河岸段丘状のローム台地、砂礫台地と、川沿いの扇状地性低地

が分布しています。山地、丘陵地の地質は、砂泥質の火山性堆積物が主で、砕屑物・軽石・ロームが散在し、北西部にはチャートや半固結堆積岩、中央北部には深成岩が分布しています

台地の地質は、上位より黒ボク・ロームからなる洪積層とその下層の砂礫を主体とした沖積層からなり、川沿いの台地は河川の浸食作用によって、表層に黒ボクやローム、砂礫が段丘状に現れています。

低地は、砂礫を主体とした沖積層からなっています。なお、洪積層のさらに下層や山地の表土下には、岩盤が分布しています。



地形分類図

平成 10 年現在
 ※国土交通省 土地・水資源局の 1/200,000 土地分類基本調査(地形分類図)「栃木県」を使用し作成。

③河川・水系

本市には、鬼怒川、田川、姿川、西鬼怒川などの 20 の一級河川、新川、鑑川などの 21 の準用河川、さらには多くの普通河川があり、沖積地を形成しながら丘陵地の間や台地上を、概ね北から南に流れています。

また、古くから農業利水が発展してきたことから、用排水路が網状に張り巡らされ、複雑な水路網を形成しています。

比較的規模の大きい湖沼としては、赤川ダム湖、栗谷沢ダム湖がありますが、これらはいずれも人造湖です。市街地内には鶴田沼や、ここから西方向に連続して分布する小さな池があり、水道山周辺には湿地を形成する小規模な沢も見られます。

昭和 47（1972）年から着手した河川整備の整備状況は、平成 20（2008）年度で、釜川などの都市基盤河川が 61.4%，準用河川が 52.0%，普通河川（59 河川）が 33.3%の改修率となっています。



主な河川位置図

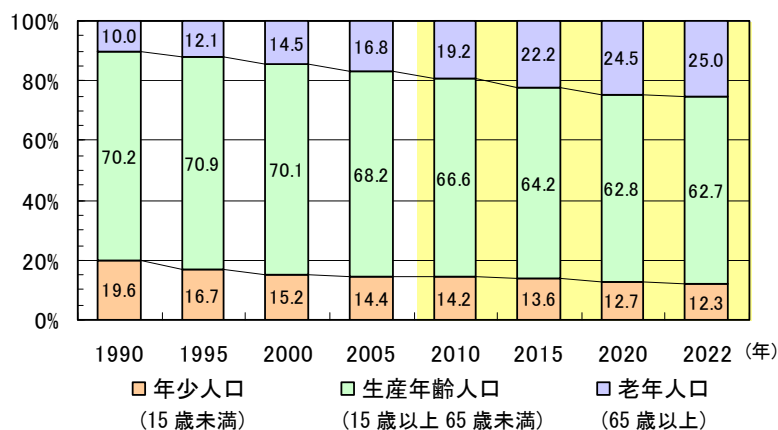
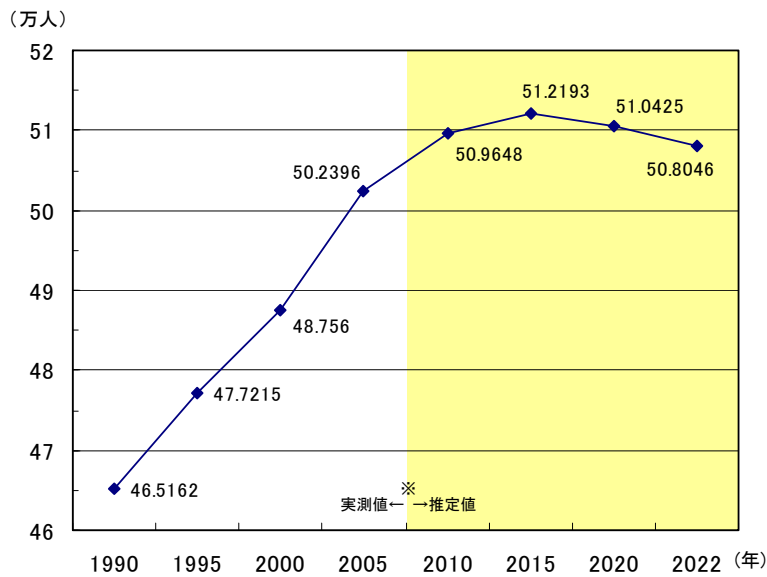
平成 20 年 4 月現在
※宇都宮市河川図を基に作成。

(3) 社会的条件

①人口

本市の人口は、平成 17 (2005) 年現在、総数 502,396 人、世帯数 196,732 世帯です。全国的に総人口が減少に転じている一方で、本市では微増の傾向が続いてきました。しかし、将来推計人口では、平成 27 (2015) 年を境に人口減少に転ずると見込まれています。

老年人口比率は年々伸び続けていますが、年少人口と生産年齢人口比率は減少を続けています。平成 34 (2022) 年には、4 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者となり、少子高齢化が今後もより顕著となっていくことが予想されます。



人口動向と見通し 出典：第5次宇都宮市総合計画

※2010年以降の人口及び年齢区分比率は、推定値である。

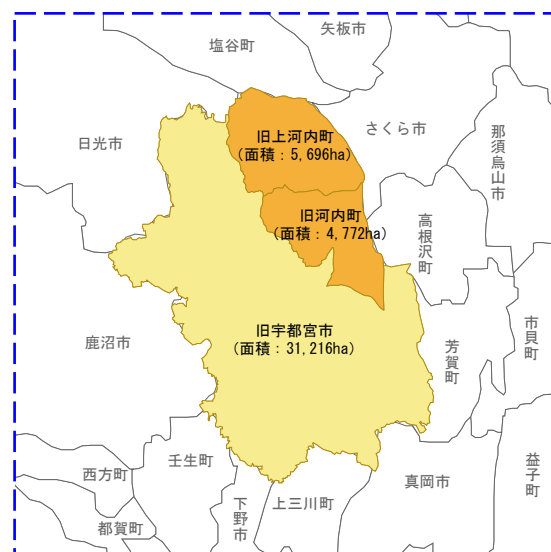
※2005年以前の人口は、旧宇都宮市と旧上河内町、旧河内町の人口を合計したものである。

②市域面積の変遷

本市は明治 29（1896）年の市制施行以来，周辺の河内郡，芳賀郡の 11 町村と合併し，行政区域を拡大してきました。

また，平成 19（2007）年には，圏域全体のさらなる発展を図るため，日常生活面などで一体性の強かった旧上河内町・旧河内町と合併を行い，現在の市域となりました。

年月日	合併市町村名	市域面積(km ²)
明治 29 年4月1日	市制を施行	17.990
昭和9年1月1日	河内郡姿川村鶴田の一部を編入	18.466
昭和 14 年4月1日	河内郡城山村大字駒生の一部を編入	19.345
昭和 17 年7月1日	河内郡平石村大字峰を編入	20.185
昭和 24 年4月1日	河内郡豊郷村大曾並びに，河内郡横川村大字平松の一部を編入	21.300
昭和 26 年6月1日	河内郡平石村大字上平出及び上越戸新田並びに，河内郡豊郷村大字竹林及び大字今泉新田の一部を編入	22.360
昭和 27 年4月1日	河内郡横川村大字江曾島の一部並びに河内郡姿川村大字西川田及び鶴田の一部を編入	24.699
昭和 27 年6月1日	河内郡国本村大字戸祭及び宝木の一部を編入	31.066
昭和 28 年6月1日	河内郡豊郷村大字竹林及び大字今泉新田の一部を編入	31.187
昭和 29 年8月1日	河内郡平石村を編入	57.347
昭和 29 年8月 10 日	芳賀郡清原村を編入	99.127
昭和 29 年9月 25 日	河内郡横川村を編入	120.197
昭和 29 年 10 月1日	河内郡瑞穂野村を編入	140.197
昭和 29 年 11 月1日	河内郡城山村，豊郷村，国本村，富屋村，並びに篠井村の一部を編入	271.557
昭和 30 年4月1日	河内郡雀宮町並びに姿川村を編入	312.857
昭和 32 年4月1日	古賀志町の一部を鹿沼市へ編入	312.530
平成元年 11 月 10 日	建設省国土地理院による改訂	312.160
平成 19 年3月 31 日	河内郡上河内町，河内町を編入	416.840



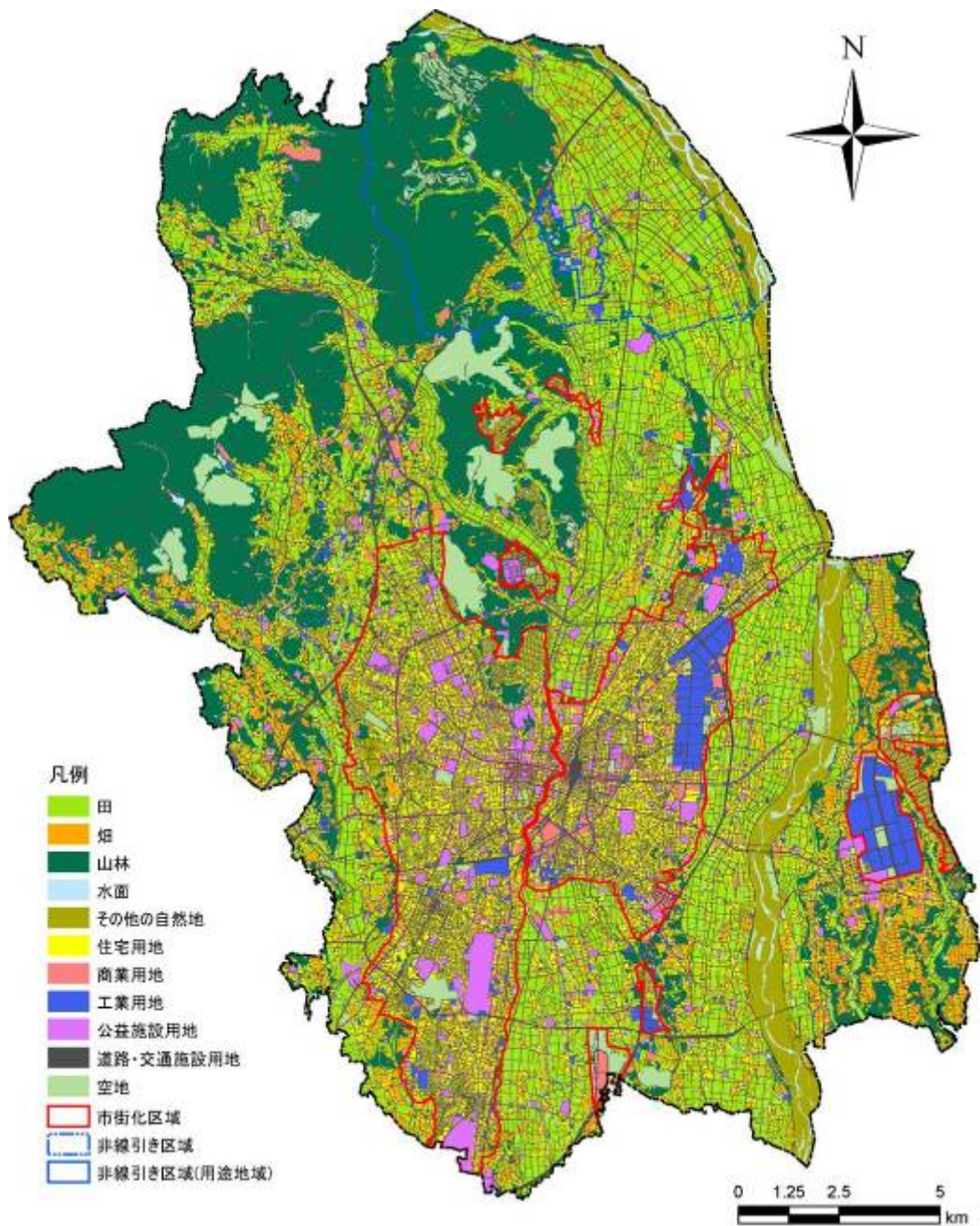
現在の宇都宮市域

③土地利用

本市では、中央部に中心市街地が形成されており、それを取り囲むように住宅用地・工業用地などの土地利用が展開し、さらにその外周部に農用地（田，畑）・山林が広がっています。

地形の特徴に応じ、低地は水田，大地は畑地・果樹園，段丘斜面はコナラ二次林やスギ・ヒノキ人工林として利用されてきましたが，1970年代からの経済発展や人口増加に伴う開発，市街化により緑が減少しています。

今後も，市街化区域内での都市的土地利用が進み，住宅地は増加，工業用地は微減，商業用地は微増，農用地・山林については減少することが見込まれています。



土地利用現況図

平成 21 年現在
※平成 18 年度都市計画基礎調査の
土地利用現況図を基に作成

④都市計画

市域面積 41,684ha のうち、市街化区域は旧河内町域の 585ha が増加して 9,199ha となり、市域の 22.1% を占め、市街化調整区域は 26,789ha (市域の 64.3%)、どちらにも該当しない非線引き区域は旧上河内町域の 5,696ha (市域の 13.7%) です。

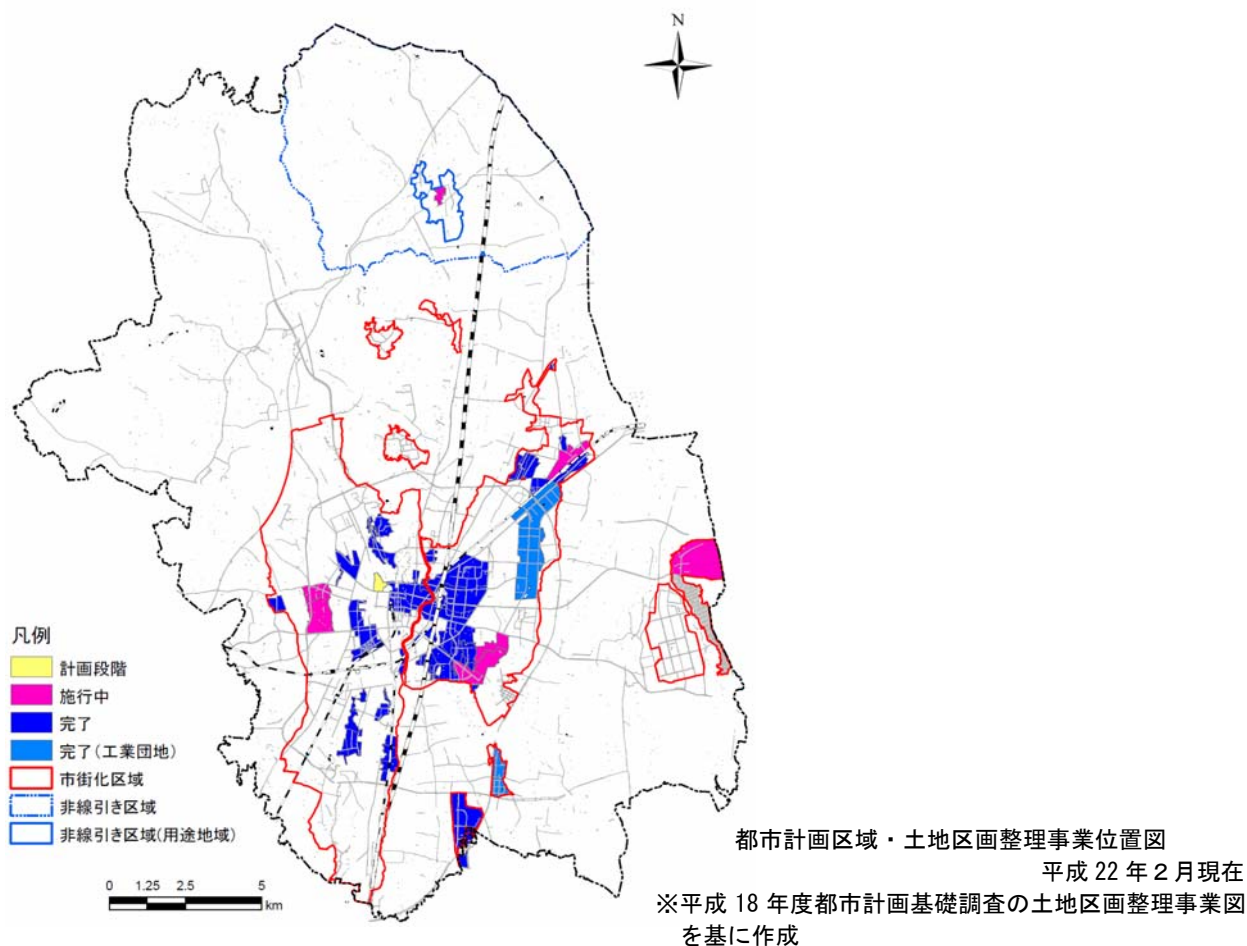
土地区画整理事業は、これまでに 56 地区 1,656.1ha が完了しています。施行者が公共のものについては、施行中が鶴田第 1、第 2 地区、岡本駅西地区など 6 地区 292.7ha、計画段階が小幡・清住地区の 1 地区 16.9ha、完了が 7 地区 319.4ha です。

市街地再開発事業は、組合施行により 5 地区 3.46ha が完了しており、宇都宮馬場通り西地区など 2 地区 0.73ha で施行中です。

市街地開発事業一覧 (表内数値は地区数及び面積 (ha))

土地区画整理事業				
施行者	施行中	計画段階	完了	合計
市長	—	—	1 (143.7)	1 (143.7)
公共	6 (292.7)	1 (16.9)	7 (319.4)	14 (629.0)
個人	—	—	8 (89.7)	8 (89.7)
都市再生機構	1 (177.2)	—	1 (120.0)	2 (297.2)
組合	1 (45.7)	—	39 (983.3)	40 (1,029.0)
合計地区数(合計面積)	8 (515.6)	1 (16.9)	56 (1656.1)	65 (2,188.6)
市街地再開発事業				
組合	2 (0.7)	6 (—)	5 (3.4)	13 (4.2)

平成 22 年 2 月現在

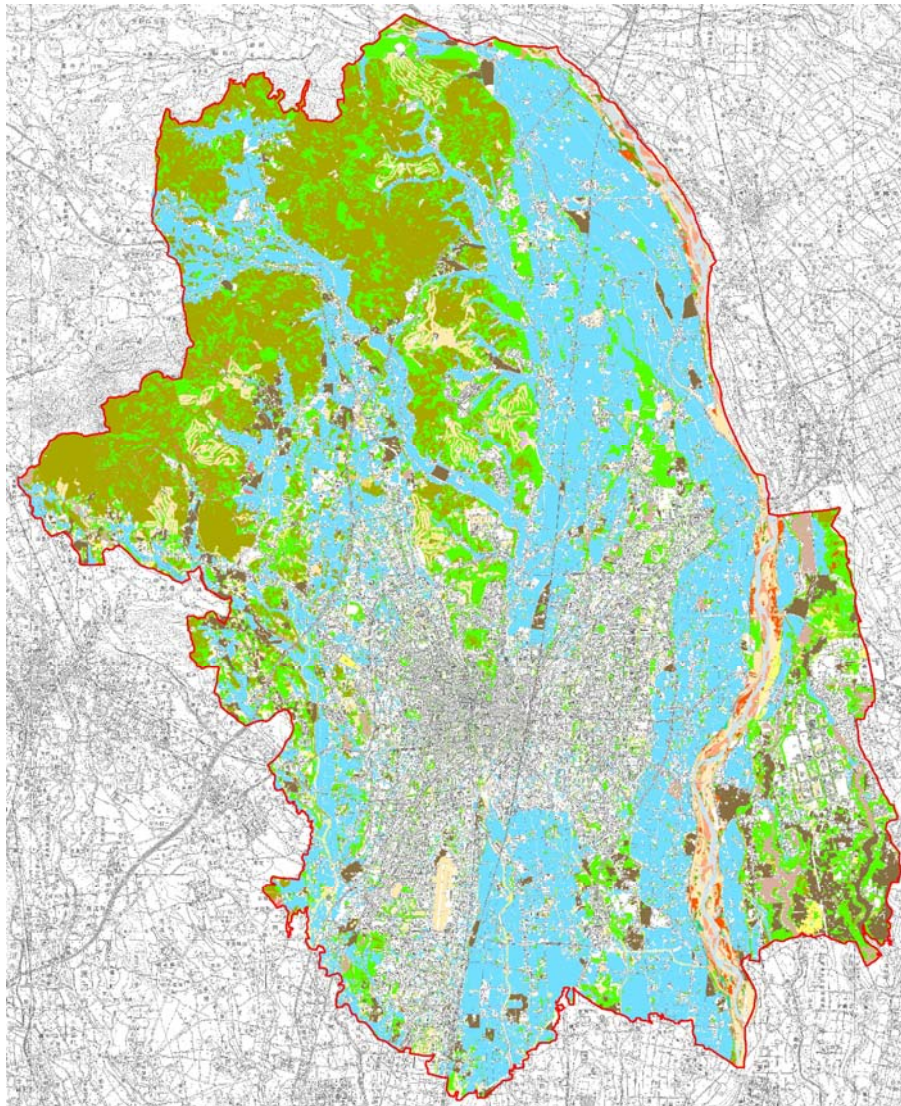


(4) 緑の特徴や状態

① 植生

市内の樹林地はコナラやアカマツ、クリを優占種とする二次林とスギ・ヒノキ人工林が混在し、北西部の樹林地にはアカマツ林も点在しています。

鬼怒川の河川敷は、河川低茎・高茎草原が中心となっています。その他、ハリエンジュ群落、ヤナギ林、ススキ草原等も見られ、多様な植生が形成されています。



凡例

シラカシ林	河川高茎草原	ススキ草原	人工草地、公園・グラウンド等
湿生林	コナラ二次林	シバ群落	造成裸地
河畔林	アカマツ林	果樹園	自然裸地
つる性草本群落	スギ・ヒノキ植林	畑地および牧草地	開放水域
林縁性低木	竹林	畑地・造成跡地群落	宇都宮市域
河川敷ヤナギ林	ハリエンジュ群落等	水田	市街地、道路、その他構造物
河川低茎草原	伐採跡地		



概略植生図

出典：平成 21・22 年度 宇都宮市自然環境基礎調査

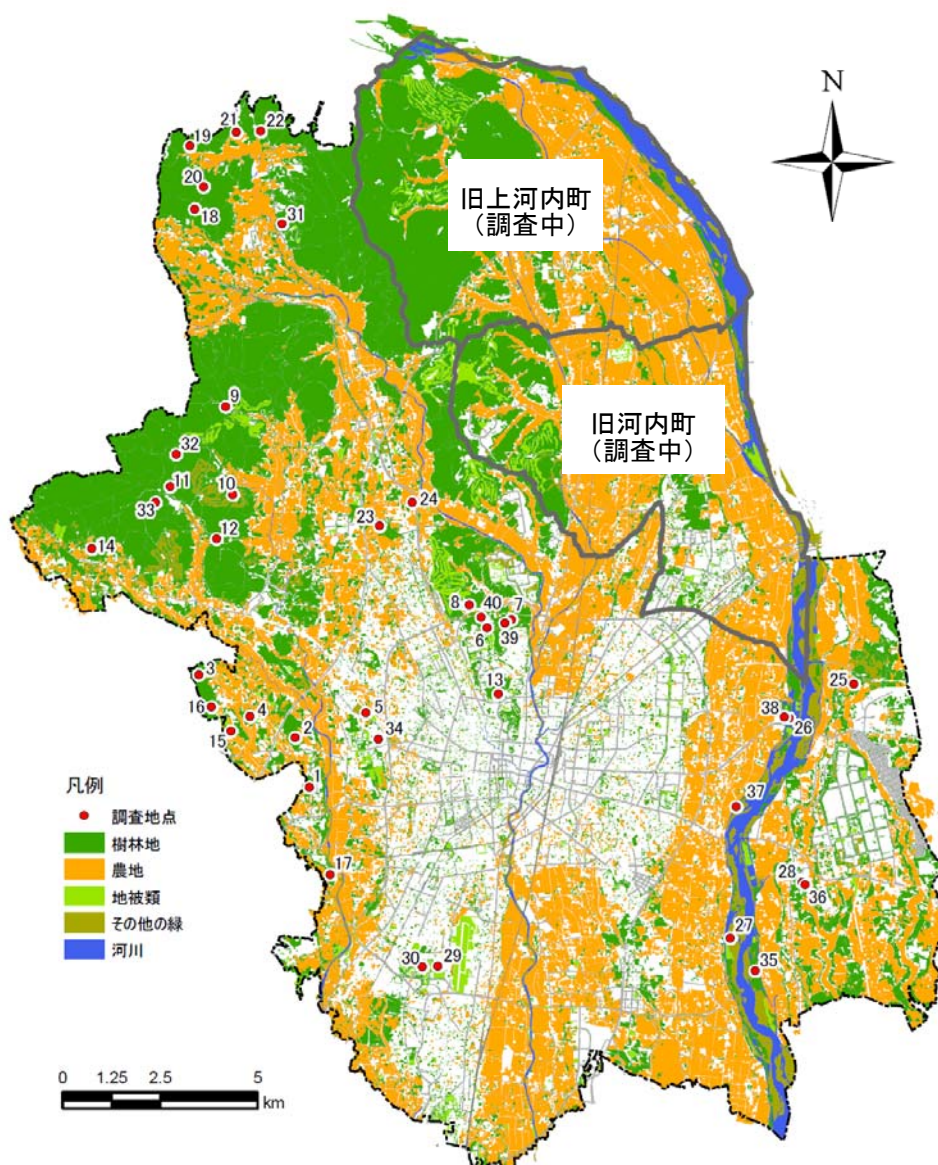
②生物の生息状況

哺乳類では、イタチ、キツネなどの中型が3種、アマズモグラ、ノウサギ、ニホンリスなどの小型が5種確認されています。

鳥類については、まとまった樹林地内で猛禽類やフクロウ類、サンコウチョウなどが確認されています。水田地帯や河川周辺では、サギ類、カモ類、カワセミなどが、住宅地・市街地では、ヒヨドリ、スズメ、キジバトや、小型猛禽類のツミ、夏鳥のカッコウなどが確認されています。

両生類は10種確認され、カエル類が多く、多くの地点で確認されています。また、貴重種であるトウキョウサンショウウオやトウキョウダルマガエルは、水田や水たまり、湿地などに生息していることが確認されています。爬虫類では6種確認され、ジムグリは、萬城路湿地近くの林内でのみ確認されています。

昆虫類では、トンボ類やチョウ類の貴重種が湿地や池などの水辺で確認されています。



貴重種確認位置図

※平成20年度宇都宮市緑の基本計画改定基礎調査報告書の緑の現況図を基に、平成11・12年度宇都宮市自然環境基礎調査より作成

※番号は「調査地点と主な植物・動物一覧」参照

出典：平成11・12年度宇都宮市自然環境基礎調査

調査地点と主な植物・動物一覧

番号	調査地点	周辺環境	確認された主な植物	確認された主な動物	番号	調査地点	周辺環境	確認された主な植物	確認された主な動物
1	初網沼	谷戸に作られたため池	サワゼリ サワギキョウ ミヤコアザミ タムラソウ アギナシ カキツバタ マメスゲ	トウキョウダルマガエル サラサヤンマ トゲアリ オオムラサキ イタチ ウシガエル	16	山口溜	谷戸に作られたため池	ミズニラ タニヘゴ ジュンサイ サワゼリ タカクマヒキオコシ オオニガナ アギナシ ヒメコスカグサ ザゼンソウ	トウキョウダルマガエル ミズムシ クロスジギンヤンマ ミズカマキリ アカスジギンカメムシ ゲンジボタル ツマグロキチョウ ヤマアカガエル ウシガエル トカゲ シマヘビ ヤマカガシ
			タニヘゴ タカクマヒキオコシ アギナシ オオチゴユリ	トウキョウダルマガエル トビアシクビソハムシ シワクシケアリ ノウサギ ニホンリス ウシガエル シマヘビ アオダイショウ ヤマカガシ				マルタニシ タガメ ホソセスジゲンゴロウ シマゲンゴロウ ツマグロキチョウ キツネ	
2	七久保溜	谷戸に作られたため池	カザグルマ サワゼリ タカクマヒキオコシ	ミズムシ ミズカマキリ シワクシケアリ	17	聖山公園西調整池	平地に作られたため池	オオニガナ アギナシ ヒメコスカグサ ザゼンソウ	トウキョウダルマガエル ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			サワゼリ サワオグルマ カキツバタ	ジュウクホシデントウ ノウサギ キツネ				カザグルマ サワゼリ ヤマクボスゲ キンラン	ミズニラ カザグルマ サワゼリ ヤマクボスゲ キンラン
3	大沢入溜	谷戸に作られたため池	モウセンゴケ ヒナノカンザン ヒメナエ ゴマクサ ヒメトラノオ ミミカキグサ ホザキノミカキグサ タムラソウ カガシラ マネキシンジュガヤ カキラン	ハッチョウトンボ	18	上小池沼	山間の湧水や水溜まり	サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ ヤマクボスゲ エビネ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			オオニガナ アギナシ ヒメコスカグサ ザゼンソウ	サワゼリ サワオグルマ カキツバタ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
4	飯田沼	谷戸に作られたため池	サワゼリ サワオグルマ カキツバタ	オゼイトンボ クロスジギンヤンマ ヨツボシトンボ アカスジギンカメムシ ハッチョウトンボ ツマグロキチョウ	19	寅巳溜	谷戸に作られたため池	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ ヤマクボスゲ エビネ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			サワゼリ サワオグルマ カキツバタ	オゼイトンボ クロスジギンヤンマ ヨツボシトンボ アカスジギンカメムシ ハッチョウトンボ ツマグロキチョウ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
5	駒生射撃場跡地	造成後の一時的な貧養湿地	サワゼリ アギナシ カキツバタ マメスゲ キンラン	トウキョウダルマガエル ゲンジボタル シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ	20	萬城路湿地	山間の湧水や水溜まり	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ ヤマクボスゲ エビネ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			サワゼリ アギナシ カキツバタ マメスゲ キンラン	トウキョウダルマガエル ゲンジボタル シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
6	長岡最終処分場湿地	造成後の一時的な貧養湿地	サワゼリ アギナシ カキツバタ マメスゲ キンラン	トウキョウダルマガエル ミズムシ ミズカマキリ シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ	21	新谷湿地	山間の湧水や水溜まり	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			サワゼリ アギナシ カキツバタ マメスゲ キンラン	トウキョウダルマガエル ゲンジボタル シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
7	長岡湿地	山間の湧水や水溜まり	サワゼリ アギナシ カキツバタ マメスゲ キンラン	トウキョウダルマガエル ミズムシ ミズカマキリ シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ	22	上篠井湿地	平地に作られたため池	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ ヤマクボスゲ エビネ	スナヤツメ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			サワゼリ アギナシ カキツバタ マメスゲ キンラン	トウキョウダルマガエル ゲンジボタル シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
8	長岡溜	平地に作られたため池	サワゼリ	ミズムシ ミズカマキリ	23	西弁天沼	山間の湧水や水溜まり	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			サワゼリ	ミズムシ ミズカマキリ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
9	栗谷沢ダム	ダム周辺の湿地	カキツバタ キンラン	ミズムシ	24	東弁天沼	山間の湧水や水溜まり	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
10	茗荷沢ダム	ダム周辺の湿地	カキツバタ キンラン	ミズムシ	25	刈沼溜	平地に作られたため池	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
11	細野ダム	ダム周辺の湿地	ヒメコスカグサ	トウキョウダルマガエル ミズムシ グンバイトンボ ヒミズ ヤマアカガエル ツチガエル	26	柳田公園緑地	公園利用されている湿地	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			ヒメコスカグサ	トウキョウダルマガエル ミズムシ グンバイトンボ ヒミズ ヤマアカガエル ツチガエル				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
12	細野池	平地に作られたため池	ジュンサイ	オゼイトンボ イタチ	27	鬼怒ふれあいビーチ	公園利用されている湿地	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			ジュンサイ	オゼイトンボ イタチ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
13	競輪場駐車場	山間の湧水や水溜まり	アギナシ	トウキョウサンショウウオ サラサヤンマ	28	高田溜	谷戸に作られたため池	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			アギナシ	トウキョウサンショウウオ サラサヤンマ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
14	唐沢池	谷戸に作られたため池	トウキョウダルマガエル ミズムシ ゲンジボタル スゲハムシ ヒミズ シムレーゲルアオガエ アオダイショウ ヤマカガシ	トウキョウダルマガエル ミズムシ ミズカマキリ シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ	29	西川田公園東側湿地	公園利用されている湿地	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			トウキョウダルマガエル ミズムシ ゲンジボタル スゲハムシ ヒミズ シムレーゲルアオガエ アオダイショウ ヤマカガシ	トウキョウダルマガエル ミズムシ ミズカマキリ シワクシケアリ ヤマアカガエル シムレーゲルアオガエ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
15	大石溜	谷戸に作られたため池	ヒメコスカグサ	ミズムシ	30	西川田公園西側湿地	公園利用されている湿地	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	トウキョウダルマガエル シワクシケアリ ホトケドジョウ ミズムシ ミズカマキリ ゲンジボタル シワクシケアリ ツマグロキチョウ イタチ イモリ ツチガエル シマヘビ
			ヒメコスカグサ	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	ゲンジボタル
16	山口溜	谷戸に作られたため池	カキツバタ キンラン	ミズムシ	31	こどもの森	山地樹林帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
17	聖山公園西調整池	平地に作られたため池	カキツバタ キンラン	ミズムシ	32	鞍掛林道	山地樹林帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
18	上小池沼	山間の湧水や水溜まり	カキツバタ キンラン	ミズムシ	33	古賀志	山地樹林帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
19	寅巳溜	谷戸に作られたため池	カキツバタ キンラン	ミズムシ	34	鶴田沼	農地樹林地混合地帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
20	萬城路湿地	山間の湧水や水溜まり	カキツバタ キンラン	ミズムシ	35	桑島鬼怒川	河川	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
21	新谷湿地	山間の湧水や水溜まり	カキツバタ キンラン	ミズムシ	36	上籠谷	農地樹林地混合地帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
22	上篠井湿地	平地に作られたため池	カキツバタ マメスゲ キンラン	ミズムシ	37	下平出	水田地帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ コアシサシ
			カキツバタ マメスゲ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
23	西弁天沼	山間の湧水や水溜まり	カキツバタ キンラン	ミズムシ	38	柳田鬼怒川	河川	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
24	東弁天沼	山間の湧水や水溜まり	カキツバタ キンラン	ミズムシ	39	長岡	丘陵樹林帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ
25	刈沼溜	平地に作られたため池	カキツバタ キンラン	ミズムシ	40	西が丘病院北側	水田地帯	ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ ハチクマ オオタカ
			カキツバタ キンラン	ミズムシ				ミズニラ サワゼリ サワギキョウ オオニガナ アギナシ	オオタカ

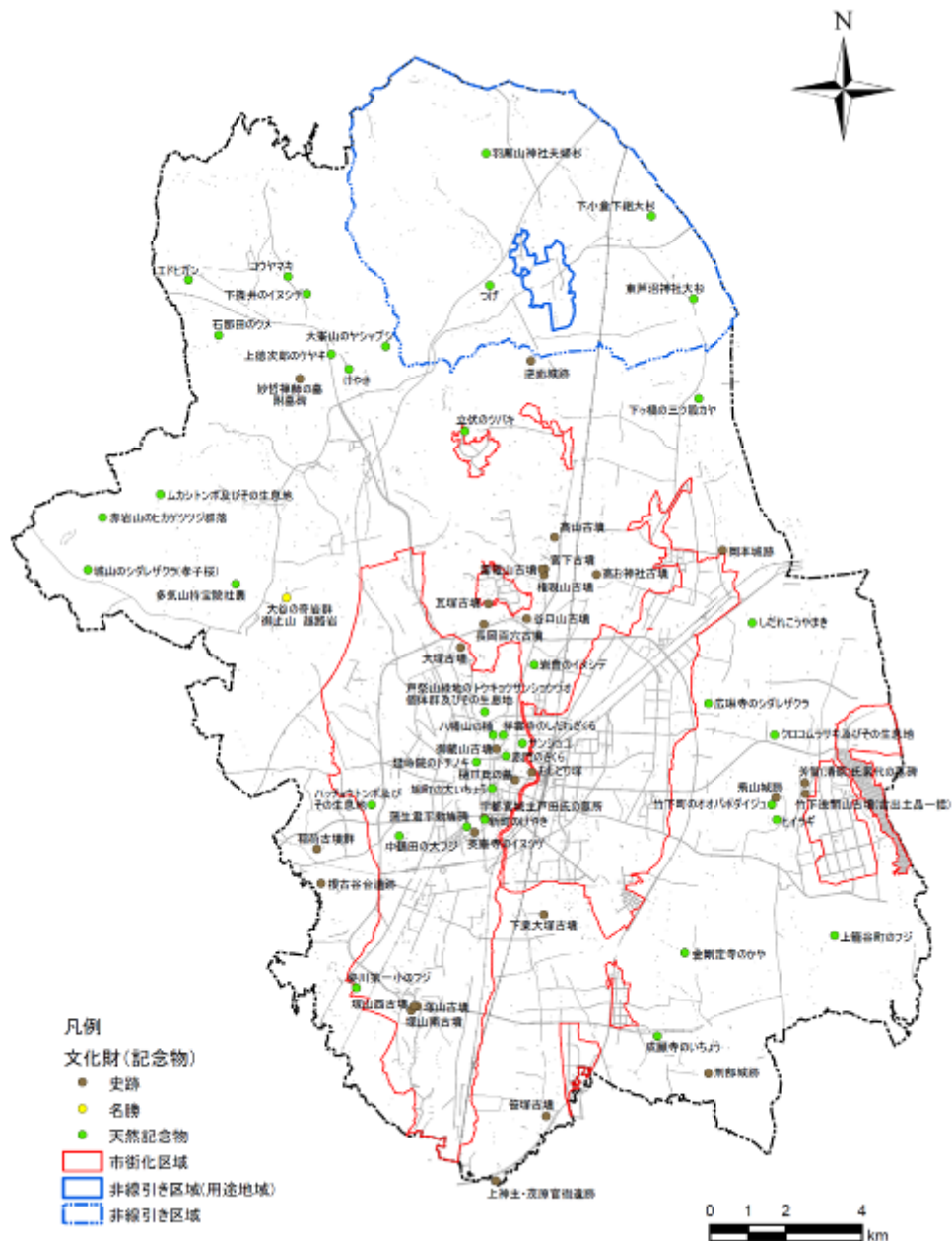
※平成11・12年度 宇都宮市自然環境基礎調査より作成
 ※番号は「貴重種確認位置図」参照
 出典：平成11・12年度 宇都宮市自然環境基礎調査

③歴史・文化資源(歴史・文化と一体となった緑)

城下町、宿場町文化の面影の残る本市は、緑に関連のある歴史的資源も数多く存在します。

史跡としては国の指定文化財である大谷磨崖仏、飛山城跡、県の指定文化財である塚山、長岡百穴、笹塚、大塚などの古墳が残されています。また、市内の旧城下には二荒山神社などの社寺が数多く存在し、日光街道の杉桜並木も旧街道の面影を伝えるものとなっています。

県や市指定の天然記念物は現在 38 件となっています。多気山持宝院周辺の社叢は、常緑樹と落葉樹、常緑蔓性植物が密生する暖帯林の北限の貴重な原生林であることから市の天然記念物の指定を受けています。また、宇都宮市森林公園周辺の水辺に生息するムカシトンボを始め、平成 20 (2008) 年には戸祭山緑地に生息するトウキョウサンショウウオ個体群を、その生息する地域を含めて市の天然記念物として指定しました。



宇都宮市の文化財(記念物)位置図
出典：平成 20 年度宇都宮市緑の基本計画改定基礎調査報告書

④ 緑による景観形成

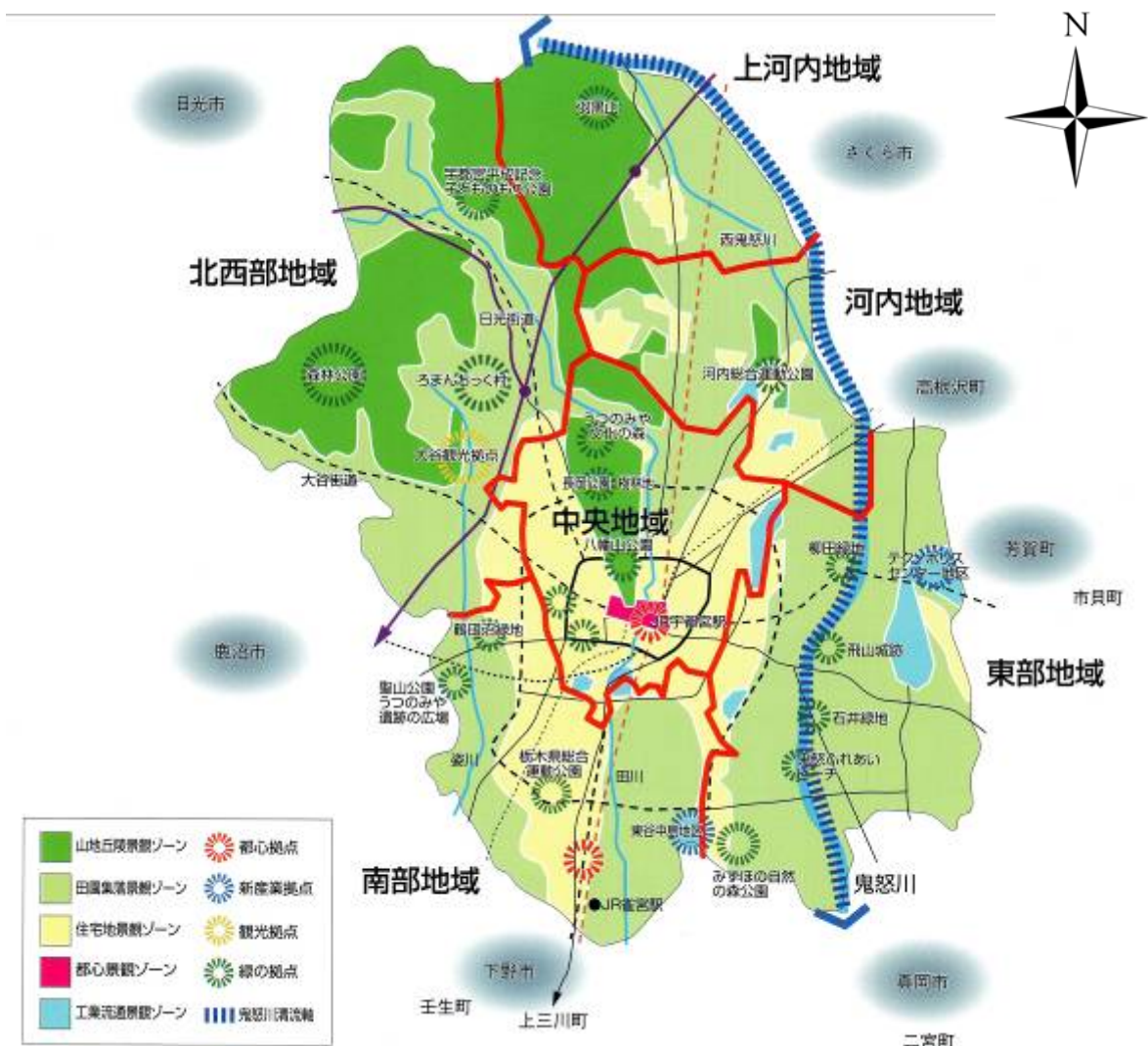
日光連山を背景に個性ある稜線を見せる古賀志山，多気山，鞍掛山の山並みや，北西部の山地の森林から続く市街地に^{くまび}楔状に張り出す丘陵地の緑，また鬼怒川，田川，姿川などの主要河川やその支流沿いに広がる田園風景は，緑豊かなふるさとを感じさせる本市の貴重な原風景となっています。

一方，市街地とその周辺においては，谷戸，ため池，湧水地などを有する里山・樹林地や，姿川等の河川の周辺に広がる水田地帯があり，本市の特徴的な里山・田園景観となっています。

本市では平成 19（2007）年に景観法に基づく「宇都宮市景観計画」を策定し，景観形成の基本方針の一つとして，「やすらぎのある緑景観の創造」が位置づけられています。

本計画に基づき，平成 20（2008）年には市中心部の宇都宮駅東口が景観形成重点地区に指定し，まちなみを彩る景修植栽や，建物への壁面・屋上緑化を進めることとしています。宇都宮駅西口の大通り地区でも指定に向けた取組を進めているところです。

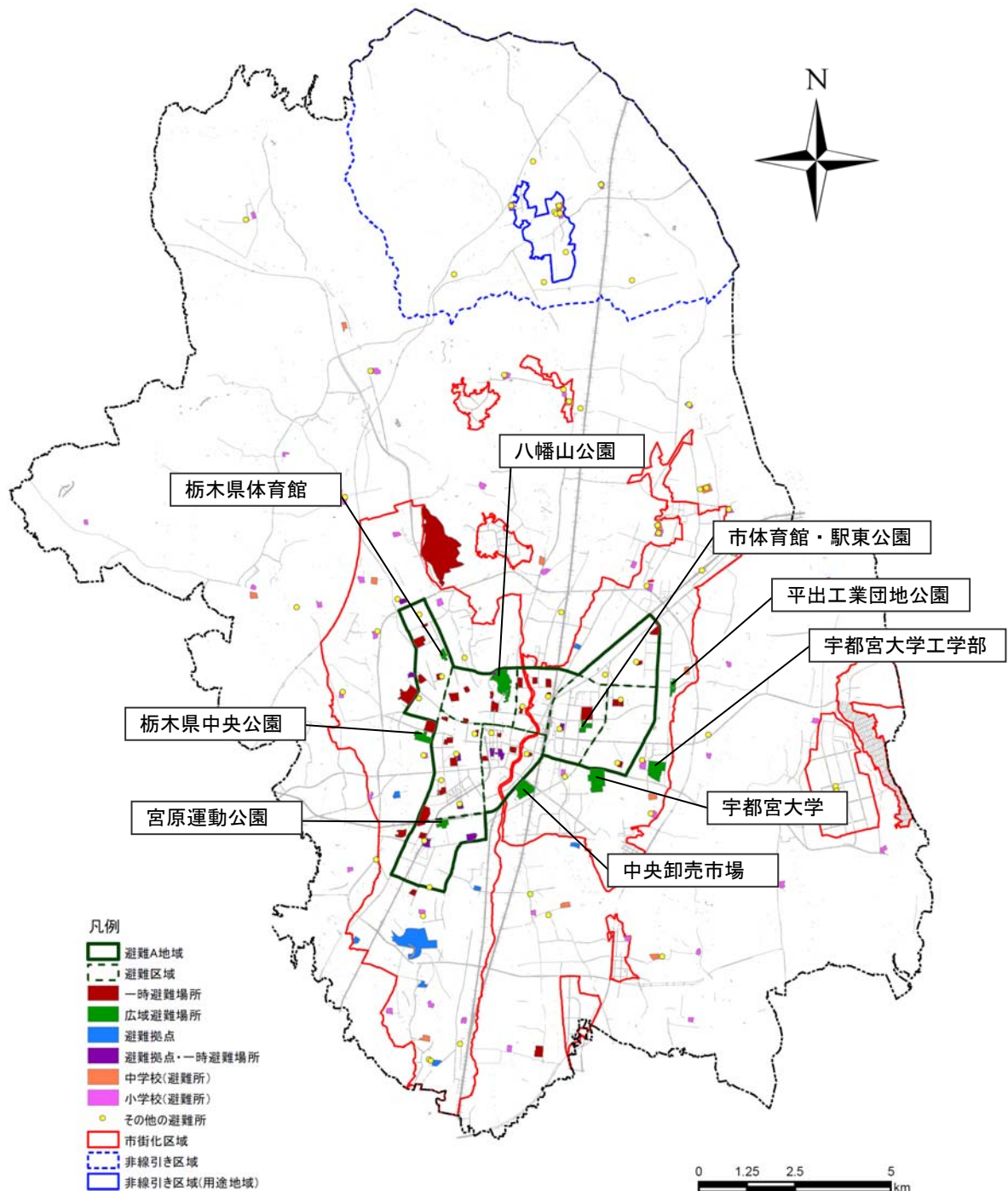
また，中里原土地地区画整理事業地区を景観形成重点地区に指定し，住民が主体となって，修景植栽や緑化率等の取決めを設定し，積極的な緑化を推進するなど，魅力あふれる景観づくりに向けた取組が進んでいます。



宇都宮市景観計画（H20改訂）における景観類型図
出典：宇都宮市景観計画

⑤避難場所等の指定状況(防災に役立つ緑)

都市公園や緑地は、地震災害等において延焼防止空間や避難場所として防災上重要な役割をもっています。宇都宮市地域防災計画（昭和 37（1962）年）において、広域避難場所や一時避難場所として公共施設、学校、都市公園等が指定されています。また、避難所は小・中学校全てが指定されています。



宇都宮市地域防災計画に基づく避難場所の指定状況

平成 22 年 2 月現在
 ※図内の施設名は、広域避難場所を指す。

⑥運動施設(レクリエーションの場としての緑や施設)

本市には県施設を含め、多くのスポーツ施設があり、市の主要なスポーツ施設の量（面積）を、中核市（49市）で比較すると、野球場2位、プール3位となっています。

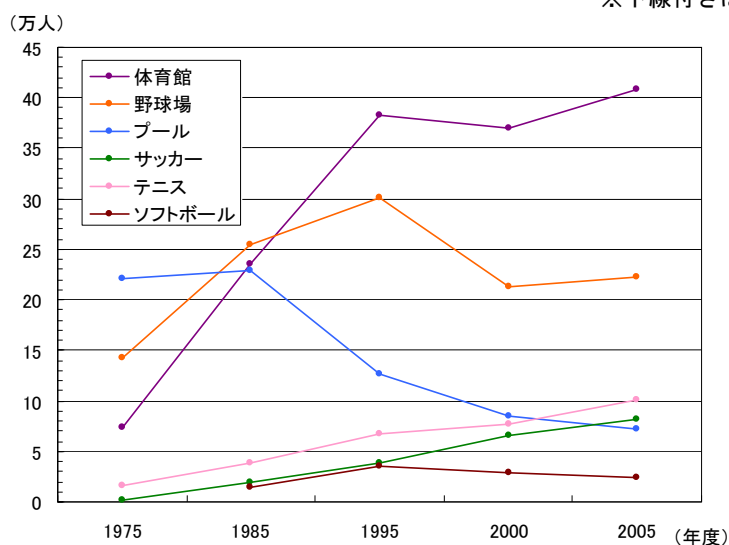
清原中央公園、宮原運動公園、県総合運動公園などの運動公園や柳田緑地、道場宿緑地、鬼怒グリーンパーク白沢などの緑地は、スポーツやレクリエーション活動を支える場となっています。

利用者は全体的にやや増加傾向となっています。体育館、サッカーやテニスでの利用が増加している一方で、野球やプールの利用が減少しています。

主な運動施設一覧

屋外運動場	体育館	プール
清原中央公園 清原南公園 宮原運動公園 駒生運動公園 鬼怒川緑地運動公園石井緑地 柳田緑地 道場宿緑地 御幸公園 みずほの中央公園 市サッカー場 屋坂運動場 上河内運動場 宮山田運動場 芦沼運動場 下田原運動場 中岡本運動場 古田運動場 河内総合運動公園 篠井地区市民センター附属運動場 県総合運動公園 県グリーンスタジアム 鬼怒グリーンパーク白沢	宇都宮市体育館 雀宮体育館 明保野体育館 清原体育館 サンアビリティーズ 姿川地区市民センター附属体育館 勤労青少年ホーム 上河内体育館 河内体育館 県体育館 県体育館分館 県総合教育センター体育館 県トレーニングセンター	駅東公園プール 水上公園プール 陽南プール 河内総合運動公園 屋内プール
		その他
		市スケートセンター サイクリングターミナル 高間木キャンプ場 冒険活動センター とちぎ健康の森

※下線付きは県有施設



運動施設の利用者数の推移

出典：宇都宮市スポーツ施設整備計画